

本会議質疑より

◎平成27年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕平成27年度の決算は、歳入決算額に対して、市税収入が2千900万円ほど減少している。

この決算を総括すると、どのような決算と見ているのか伺う。

〔答弁〕一般会計は、190億円を超える過去2番目の規模であり、震災復興特別交付税の増が大きく反映していると考ええる。

平成27年度の決算は、固定資産税の市税収入が減少している。しかし、基金の取り崩しや市債の増額などにより歳入を確保しながら、東日本大震災により被災した公共下水道の復旧工事を初め、学校給食センター整備事業、また白石スキー場整備事業など、第五次白石市総合計画に示す

「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を実現するために動いた決算だと考えている。

また、白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議に沿った各種施策を確実に実行した成果があらわれたものだと考えている。

〔質疑〕平成27年度の未収入金について、一般会計と特別会計で前年度より1千100万円ほど減少している。

この状況を、どのように分析しているのか伺う。

〔答弁〕未収入金の減少については、平成27年度からコンビニ収納を開始し、納められる環境が整備できたことにある。

しかしその状況で、市税収入が減っていることは、残念な結果と感じている。この結果を踏まえた上で、今後負担の公平性から、しっかりと収納に努めていきたいと考えている。

◎平成28年度白石市一般会計補正予算（第3号）

〔質疑〕衛生費のドクターヘリランデブーポイント標識設置事業について、その内容を伺う。

〔答弁〕設置場所は市内11カ所で、設置する看板の大きさや素材、基準は県から指定はされていない。

この内容については、広報しろいし10月号でお知らせする予定である。

〔質疑〕商工費のみやぎおとぎ街道インバウンド推進事業と環蔵王インバウンド推進事業の委託料について、特に台湾へのプロモーションを意識した内容となっているが、その経緯と理由を伺う。

〔答弁〕新聞等でも報道されているが、東北六県で推進していること、さらに格安の航空機（LCC）が仙台空港に乗り入れをしていることがあげられる。

また、これまでも台湾の都市との交流があり、そのことを含めた上で、台湾という大

きな商業圏に宮城県・白石市として取り組んでいきたいと考えている。

〔質疑〕商工費の弥治郎こけし村太鼓橋架け替え工事の設計委託料について、その詳細を伺う。

〔答弁〕こけし村の入り口にある木製の太鼓橋は、平成6年に国の林業構造改善事業を活用して整備した橋である。

老朽化が進んだため、平成28年度に市町村総合振興補助金を活用して整備したいと考えており、詳細な設計書等が



架け替え予定の太鼓橋（弥治郎こけし村）

必要となる。そのため、測量から工法や材質なども検討していくことになる。

◎平成28年度白石市下水道事業会計補正予算（第1号）

〔質疑〕公共下水道事業災害復旧工事費の増について、その詳細を伺う。

〔答弁〕平成28年度に入り、新たに下水道管の被災箇所が、福岡蔵本地内で約100メートルほど発見された。

震災による影響であることが確認できたことから、復旧工事を行うものである。

〔質疑〕災害復旧工事については、多くが繰越事業となっているが、どの程度が終了しているのか伺う。

〔答弁〕現時点で判明しているものについては、すべて完了させたいと考え、現在、復旧工事を進めているところである。